

第1章 倉敷市の概要

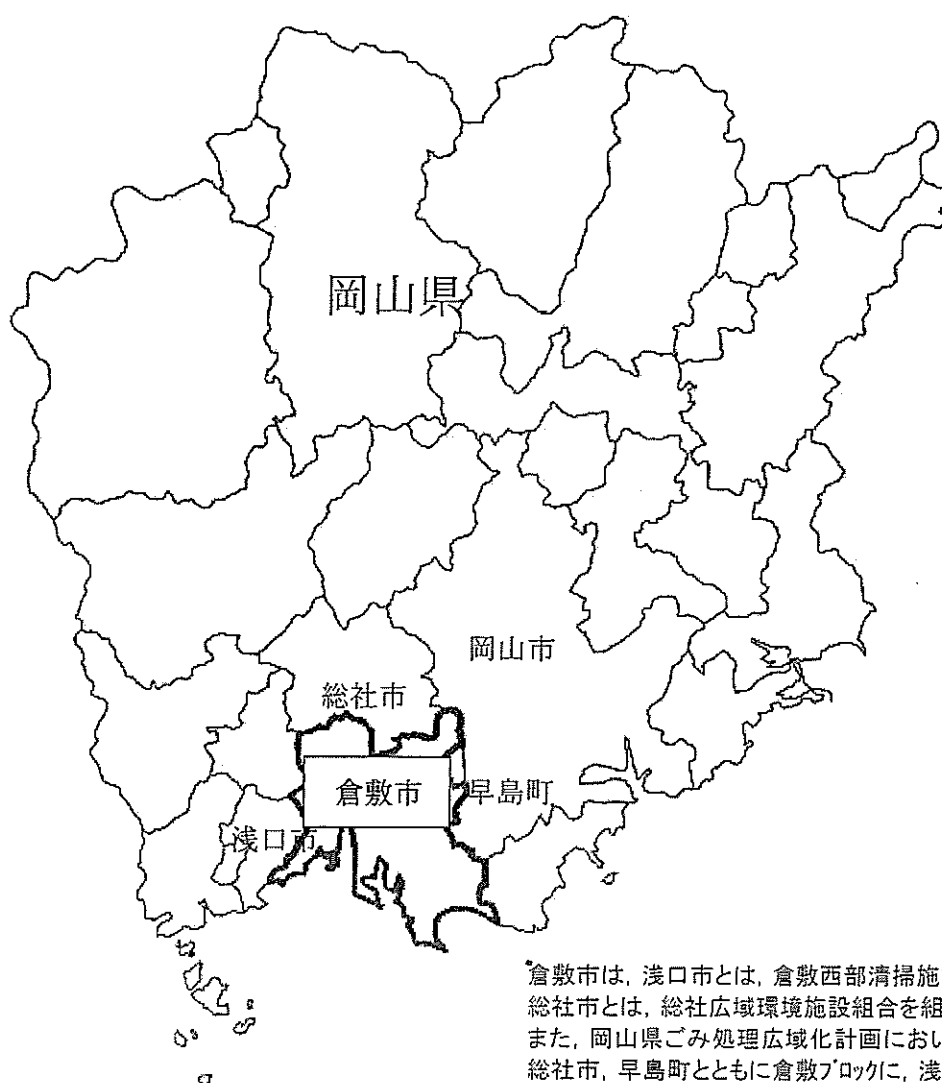
1. 位置及び地勢	1
2. 市 勢	2
3. 市制の沿革	2
4. 地区別の人口・世帯数・面積	3
5. 人口及び世帯数の推移・1世帯当たりの平均人数	3

第1章 倉敷市の概要

1. 位置及び地勢

倉敷市は岡山県の南部、岡山平野の西部に位置し、東部は岡山・玉野の両市に、北部は総社市に近接している。

市域は県下三大河川の一つに数えられる清流豊かな高梁川が瀬戸内海に形成した沖積平野と、その背後地である緩やかな丘陵で成り立っており、高梁川とこの丘陵によって倉敷・水島・児島・玉島・船穂・真備の6つの地区に分かれている。



東 経	北 緯	面 積
133度46分28秒	34度34分52秒	354.72 km ²

2. 市勢

本市は、旧倉敷市、旧児島市、旧玉島市の3市が、昭和42年2月に合併して、新しい「倉敷市」として誕生し、その後、昭和46年に隣接の庄村を、翌47年に茶屋町を編入して市域を拡大した。

この間、昭和30年代後半から40年代にかけての水島臨海工業地帯の順調な成長に伴い、都市基盤も急速に整備され、岡山県南産業都市の雄都として、又、東瀬戸広域経済の中核都市として大きく発展を遂げてきた。また、一面において往時を偲ぶ倉敷川畔の白壁土蔵づくりの町並みは、心のふるさととして万人に愛される格調ある町として知られている。

また、平成14年4月には中核市となり、平成17年8月には船穂町、真備町と合併し、市民サービスの向上、地域の特性に応じた個性ある町づくりの推進などを通じて「安心して暮らせるまち」の実現に向けて取り組んでいる。

3. 市制の沿革

年 月 日	旧倉敷市	旧児島市	旧玉島市	
昭和3年4月1日	市制施行 倉敷市	市制施行 児島市		
昭和5年8月1日	福田町の一部編入			
昭和19年1月1日	中洲町編入			
昭和23年4月1日				
昭和25年9月1日	粒江村編入			
昭和26年3月28日	管生村編入 中庄村編入 帯江村編入			
昭和27年1月1日				市制施行 玉島市
昭和27年4月1日	豊洲村の一部編入			長尾町編入 黒崎町編入 富田村編入
昭和28年1月1日	西阿知町編入			
昭和28年2月11日				
昭和28年4月1日				
昭和28年6月1日	福田町編入 連島町編入 藤戸町編入	琴浦町と合併 郷内村の一部編入	穂井田村の一部編入	
昭和29年12月1日				
昭和31年4月1日				
昭和34年3月31日				
昭和42年2月1日	倉敷市・児島市・玉島市が合併し、新市名「倉敷市」となる			
昭和46年3月8日	庄村編入			
昭和47年5月1日	茶屋町編入			
平成13年4月1日	保健所政令市移行			
平成14年4月1日	中核市移行			
平成17年8月1日	船穂町、真備町編入			

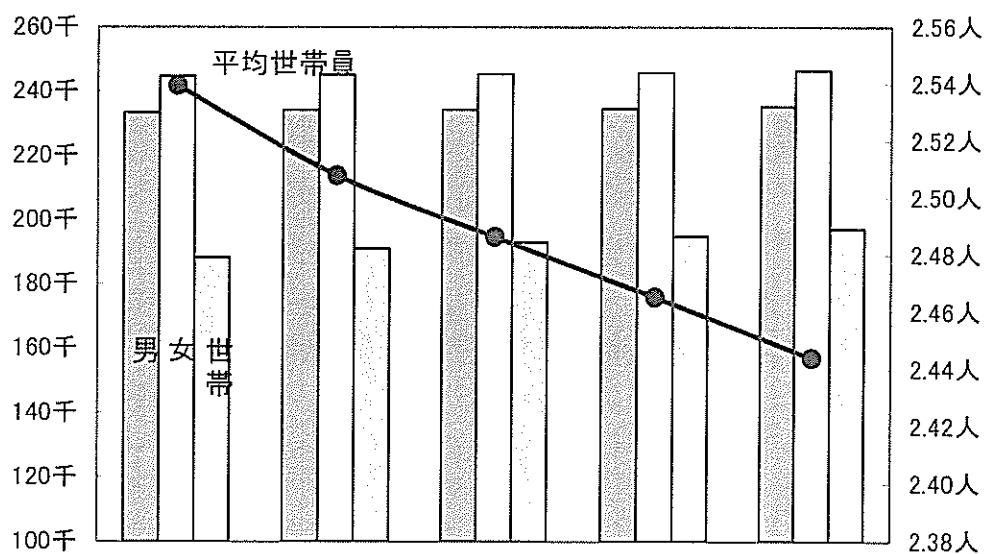
4. 地区別の人口・世帯数・面積

(平成24年3月31日現在)

地区名		男(人)	女(人)	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
倉敷地区	庄地区	7,175	7,715	14,890	5,991	13.80
	茶屋町地区	7,756	8,192	15,948	5,844	5.24
	旧倉敷地区	92,557	99,078	191,635	77,476	旧倉敷＋ 水島＝
	小計	107,488	114,985	222,473	89,311	
水島地区		45,790	43,865	89,655	38,301	140.44
児島地区		35,496	38,299	73,795	30,526	80.13
玉島地区		31,727	33,636	65,363	25,918	60.19
船穂地区		3,612	3,798	7,410	2,580	10.84
真備地区		11,195	11,832	23,027	8,223	44.08
全市計		235,308	246,415	481,723	194,859	354.72

※ 面積は、平成21年10月1日現在

5. 人口及び世帯数の推移（棒グラフ）・1世帯当たりの平均人数（折れ線グラフ）



		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人口	合計	478,057人	479,313	479,664	480,397	481,723
	男	233,418	234,195	234,294	234,568	235,308
	女	244,639	245,118	245,370	245,829	246,415
世帯数		188,246世帯	191,113	192,912	194,859	197,104
平均世帯員		2.54人／世帯	2.51	2.49	2.47	2.44